

「東京ベイエリアビジョン」（仮称） の検討に係る官民連携チーム

最先端技術のまちWG

第1回提案

平成30年12月

目次

- 1 現状認識
- 2 最先端技術の導入にあたってのコンセプト
 - ・コンセプト1 「サステイナブルな社会の実現」
 - ・コンセプト2 「制約からの解放」
- 3 今後の検討の方向性
 - ・テーマ1 「テクノロジーの活用による未来社会」
 - ・テーマ2 「テクノロジーが集まる・育つまち」
 - ・テーマ3 「技術者が集まる・育つまち」
- 4 本日のまとめ

1 現状認識

■テクノロジー

自動化技術やロボット、エネルギー技術など、各要素技術の開発が進んでいる



AIロボット



料理ロボット



EV充電スタンド

1 現状認識

要素技術キーワードマップ

		環境, 資源の 保全, 活用	生活の快適性 自由度向上	経済, 物流の 活性	地域住民の 防災, 安全
センシング	材料 エネルギー	無線給電 燃料電池	廃棄物 食糧		水処理
	ロボット モビリティ	ZEV	家事, 介護 公共空間の サービス	ロボット 自動運転 製造, 運搬	
人工知能	都市設計 インフラ	自然エネルギー (大型発電設備) ZEB	交通システム ナビゲーション シェアサイクル	自動輸送網 船運	インフラ保全
	金融 言語		多言語翻訳 フィンテック		
データエンジニアリング	医療 バイオ		バイタルデータ ウェアラブルセンサ		

1 現状認識

■テクノロジー

～ 2018年に想定できる最先端技術のバリエーション ～

1. 2018年に存在する要素技術を高度化, ブラッシュアップした技術

例) 各種発電方法の高効率化, 5G技術 など

2. 要素技術のスマート化 → 人による判断やオペレーターの補助, 代行

例) 自動運転, ロボット, 金融可視化 など

3. 複数の要素技術×スマート化技術 → 新しいシステム, サービス, 価値の提案

例) エネルギーの効率的な運用, シームレスなナビゲーションなど

4. ベイエリア, 東京ならではの技術

例) 水, 食, 海洋利用など

5. 2040年の挑戦的な技術

例) 天候支配, 海底都市など

1 現状認識

■ ベイエリアの地理的特性

- 臨海部の水に囲まれた土地
⇒ 様々な社会問題に未知の可能性を秘める「海」が近く「水」資源が潤沢
- ヒトやモノが自然に集まるHUBエリア
⇒ 羽田空港や東京湾と隣接し、東京駅や品川駅に近く、国内外からのアクセスが容易
- 6つの区にまたがったエリア
⇒ 区ごとに異なる行政サービス



1 現状認識

■ バイエリアの歴史的特性

○ 内陸部

⇒ 江戸時代から埋め立てられた歴史あるまち、昔からの住民、
下町文化

○ 臨海部

⇒ 比較的新しいまちづくり、新たに流入した住民

⇒ 物流の拠点整備（東京港、羽田国際空港）

⇒ 東京2020大会の開催・レガシー



2 最先端技術の導入にあたってのコンセプト

(1) サステイナブルな社会の実現

◆ どんな「まち」なのか？

社会貢献につながるテクノロジーを産み育てていくまち

◆ 目的

日本は課題先進国

✓ 最重要課題『人口減少』

✓ 人材育成

世界が向かうことが予測される
未来

✓ 少子高齢化

✓ エネルギー・環境問題



最先端のテクノロジーによる解決



モデルケースとして 国際社会に貢献

2 最先端技術の導入にあたってのコンセプト

(2) 制約からの解放

◆ どんな「まち」なのか？

最先端のテクノロジーによってヒトが時間や空間など様々な制約を受けないまち

◆ 目的
(例) 各種制約

- ✓ 時間
 - ○○するのに時間が限定されている
 - 通勤や通学に○時間かかる
- ✓ 空間
 - 限定された場所でしか○○できない
 - 移動手段がないので目的地へ行けない
- ✓ 言語
 - 言語の違いで意思疎通がうまくいかない



新たな技術・新たな発想
最先端のテクノロジーにより

自由を保障



- ✓ イノベーション促進の土壌づくり
- ✓ 最先端のライフスタイルを世界に

発信

3 検討の方向性

テーマ1 新たなテクノロジーの活用による未来社会

Technology

- ・自動化技術
- ・自動運転システム
- ・ロボット
- ・エネルギー技術
- ・新技術研究
- ・将来予測



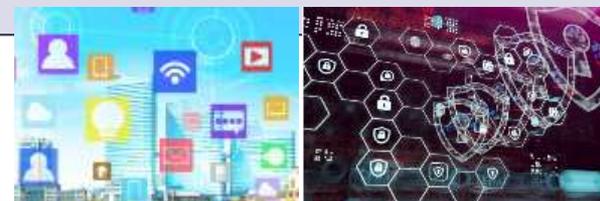
Element

- ・言語
- ・モノ、サービス
- ・時間、資本
- ・文化
- ・技術検証
- ・地域特性

- ・「海」が近く「水」資源が潤沢
- ・ヒトモノが集まるHUB
- ・高度な食文化(豊洲・築地)
- ・下町文化、伝統の存在
- ・住民ゼロ地域あり
- ・東京2020大会の開催

テーマ2 テクノロジーが集まる・育つまち

- (1) 自動化社会の最適化
- (2) 安全のシステム化



テーマ3 技術者が集まる・育つまち

- (1) 技術のショーケース化
- (2) 次世代の育成



4 本日のまとめ

CONCEPT

□サステイナブルな社会の実現

社会貢献に繋がるテクノロジーを生み育てていくまち

□制約からの解放

最先端テクノロジーによりヒトが時間や空間などの制約を受けないまち

Technologyが集まる・育つ

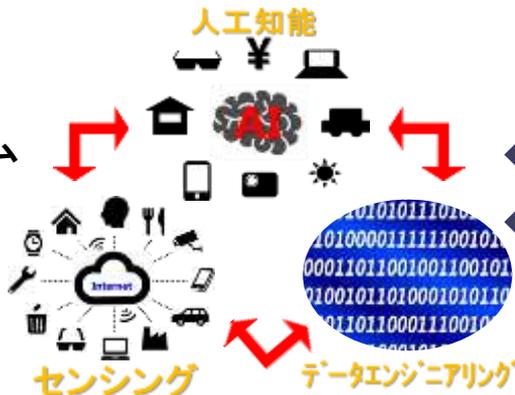
- ・自動化社会の最適化
- ・安全のシステム化

技術者が集まる・育つ

- ・技術のショーケース化
- ・次世代の育成

Technology

- ・自動化技術
- ・自動運転システム
- ・ロボット
- ・エネルギー技術
- ・新技術研究
- ・将来予測



Element

- ・言語
- ・モノ、サービス
- ・時間、資本
- ・文化
- ・技術検証
- ・地域特性

- ・「海」が近く「水」資源が潤沢
- ・ヒトモノが集まるHUB
- ・高度な食文化(豊洲・築地)
- ・下町文化、伝統の存在
- ・住民ゼロ地域あり
- ・東京2020大会の開催

ATTENTION

□ビジョンを実行する主体(企業)やビジョンが実現した際に影響を受ける人(住民)にとって魅力を感じるもの

□規制・制度、基盤技術、データベースなどの整備(誰が管理するか含め)

□日本の過去の未来技術への取り組み方(=過去事例)、他国バイエリアの成功事例の研究